

トラウマの世代間伝達への親と子 2 世代への支援

*当財団（講座）は「臨床心理士」資格取得者の研修機会として、（公財）日本臨床心理士資格認定協会より「短期型研修会（ワークショップ）」の承認を受けております。＜承認期間：2022年7月2日～2027年7月1日 承認番号：20210392＞
なお、本講座は2ポイント（予定）となります。

期 日：2023年3月25日（土）・29日（水）のいずれかのご希望日

※ご希望日を必ず通信欄にご記入・ご入力ください

受講対象：教育・医療・相談・福祉・保育の各機関・現場等で子どもにかかわる専門家の方々、
ならびに大学生・大学院生など本テーマに関心のある方

申込期限：2023年3月17日（金）（お申込みは先着順となりますが、期限前に募集を終了する場合がございます）

受講料：7,500円（税込み）

配信方法：『Cisco Webex』を使用し、配信 ※事前承認制です

本講座は事前にビデオ収録し、当日オンラインで配信する講座です

主 催：公益財団法人 明治安田こころの健康財団 TEL 03-3986-7021

東京都豊島区高田3-19-10

*** ご企画 // 山下 洋 先生：九州大学病院子どものこころの診療部 特任准教授 ***

友田 明美 先生：福井大学子どものこころの発達研究センター 発達支援研究部門 教授

亀岡 智美 先生：兵庫県こころのケアセンター 副センター長兼研究部長

杉山 登志郎 先生：福井大学子どものこころの発達研究センター 客員教授 (ご出講順)

トラウマがライフコースを通じたこころの発達に与える影響についてバイオ・サイコ・ソーシャルな認識の枠組みが提唱されている。なかでも複雑性トラウマおよび小児期逆境体験（ACE）とその世代間伝達はトラウマからの回復と予防に向けた包括的な心理社会的介入の礎となる重要な視点である。いずれの視点もこころの発達にとって重要な早期環境を今ここの問題として取り扱う臨床の営みへとつながる。成熟した社会においては早期環境-養育的ケアとその多様性の意義を踏まえて、子育て世代への包摂的な支援を提供することが求められている。

本企画ではトラウマに関連する問題の親子2世代へのアプローチとして、重層的・領域横断的な問題としてとらえられるトラウマを視野に入れた親子支援の実践と研究のエキスパートから多領域の取り組みを紹介する。
【九州大学病院子どものこころの診療部 山下 洋】

< プログラム >

※時間割・テーマ等が変更となる場合があります。予めご了承ください。

	時 間	テ ー マ	講 師 (敬称略)
各 日	10:20頃～	オンライン講座の事前案内	
	10:30～11:30	脳科学のエビデンスから不適切養育の予防に向けた社会的介入システムへ (2021年度発達障害・専門講座11の講義と同じ内容になります)	友田 明美
	11:30～12:30	休 憩	
	12:30～13:45	親子双方のトラウマ関連認知・行動への介入 親子複合型認知行動療法から	亀岡 智美
	13:55～15:10	TS プロトコールと親子並行治療の実際	杉山 登志郎
	15:20～16:35	アタッチメント・トラウマとメンタライジング 子育て困難への介入	山下 洋